

## 1. 報告会情報

- 日時 2024年10月27日(日) 13:30~16:30
- 会場 浦安市国際センター 研修室1と2連結(オンラインZoom参加も用意)
- 主催 青年海外協力隊千葉OB会(OB会)と千葉県JICAシニアボランティアの会(SV会)との合同
- 共催 JICA東京、浦安市国際センター
- 後援 千葉県
- 参加者 全28名(一般4、SV活かす会1、OB会4、SV会16、講師2、来賓1)
- 進行
- 13:30 開会挨拶 SV会会長 中西 陽典(5分)
  - 13:35 来賓挨拶 JICA東京 田中 哲平(15分)  
近年のJICAボランティア事業と秋募集の紹介を含む挨拶
  - 13:50 企画説明 コーディネータ 登内 明(20分)
  - 14:10 講演 宮道 宏彰(講演60分) 派遣国:タイ、職種:コンピュータ技術  
講演テーマ:海外協力隊の活動を終えて感じていること
  - 15:10 休憩(10分)
  - 15:20 講演 笹瀬 正樹(講演60分) 派遣国:パプアニューギニア、職種:小学校教育  
講演テーマ:いつか必ず帰ると約束したパプアニューギニア
  - 16:20 まとめ コーディネータ 登内 明(5分)
  - 16:25 閉会挨拶 OB会会長 西村 邦雄(5分)

## 2. 開会挨拶 SV会会長 中西 陽典氏

SV会の中西 陽典会長が開会挨拶をされました。



開会挨拶 SV会会長 中西 陽典氏

## 3. 来賓挨拶 JICA東京 田中 哲平氏

開会挨拶に続き、JICA東京の田中 哲平氏が来賓挨拶され、近年のJICAボランティア事業について簡潔に紹介されました。

続く報告の部は、コーディネータと講師の3名で進行されました。各講師の講演は分かり易く、コーディネータが講師と聴衆とを結び付け活発な質疑応答もあり、新企画であったものの参加者も例年以上であり、全体として大変好評でした。なお、初企画のオンライン参加には改善の余地がありました。



来賓挨拶 JICA 東京 田中 哲平氏

#### 4. 企画説明 コーディネータ 登内 明氏



企画説明 コーディネータ 登内 明氏

コーディネータの登内 明氏の企画説明要旨：例年 SV 会は報告会を開催しているものの新規帰国の報告者確保が困難になっているので、今回、JICA 千葉デスク、SV 会、OB 会が協力して帰国報告会を開催する企画とした。SV 会と OB 会の活動を比較すると多く共通している。千葉デスクの働きで 2 名の新規帰国者の報告を準備できた。

#### 5. 講演 宮道 宏彰氏 「海外協力隊の活動を終えて感じていること」



講演 宮道 宏彰氏



対話 会場参加者-宮道講師-登内コーディネータ



対話 会場参加者-宮道講師-登内コーディネータ

宮道 宏彰氏の講演要旨：会社の情報システム部門に 36 年間勤務後定年退職、タイ王国にコンピュータ技術職種で 2022 年 2 月から 2024 年 2 月まで派遣された。派遣先のプリンセス・チュラポーン・サイエンス・ハイスクールはタイ王立の中高一貫、男女共学、全寮制の学校、理数系科目に重点をおいた教育カリキュラムで、タイ国内に現在 12 校存在する。学費・寮費は無償。設備、備品等は十分整っている状況。活動目標は、Hackathon 大会をコロナ禍で中止していたが、3 年ぶりに再開させ、チュラポーンの先生方中心の運営により、継続的に実施することであり、2022 年度の Hackathon タイ予選・決勝大会ともに盛大に開催された。技術面では生徒のレベルは高い。生徒のやる気醸成に向けた個別に自分で設定したテーマ 6 つについて、合計 22 回、延べ約 330 人の生徒にプレゼンを実施した。他方、タイ語でのコミュニケーションは最後まで十分なレベルには到達できなかった。活動期間中の自分のモチベーション曲線の推移を紹介、モチベーションが十分でない期間があったにせよ、協力隊員の存在自体任国・任地では意味があると思った。

## 6. 講演 笹瀬 正樹氏 「いつか必ず帰ると約束したパプアニューギニア」



講演 笹瀬 正樹氏



対話 会場参加者-笹瀬講師-登内コーディネータ

笹瀬 正樹氏の講演要旨：地元静岡の大学・大学院で学校教育を6年間学んだ。中学生からの夢はカッコイイ先生になりたい、だった。学生時代に勇気を出して飛び出した海外、異文化っておもしろい、よし！いつか海外に挑戦しよう！と心に決めた。小学校教員採用試験のため勉強、でも不合格だった。よし！今、挑戦しよう！と決心、JICA 海外協力隊に応募し小学校教育でパプアニューギニア (PNG) に派遣された。800、この数字の意味は？PNG の人々は部族に分かれて生活、独自の文化・言語を発達させ、言語の数は800以上。お祭りの儀式では、精霊トゥブアンにあるものを投げつけてお祈りをする、その、「あるもの」とは何でしょう？正解はビデオで、貝で作られたお金なのです。PNG の特徴①：独特の文化、特徴②：美しい海、特徴③：美味しい果物。次に、現地での小学校教育活動について紹介。現地の先生の授業を見て一方通行的と感じたので、PNG の子どもたちに楽しく学んでほしい！と思い、理科・算数の授業、紙芝居の制作、音楽プロジェクトを立案、分かりやすい授業、参加できる授業、笑って学べる、子どもたちの大好きな音楽を通して学ぶことなどを実践した。協力隊に参加して良かったことは、色々なことに挑戦できて「またこんな仕事をしたいな」と思えたこと。その後、経験を活かして教育 NGO 職員としてタンザニアの中学校で5年間勤務した。一般社団法人 Wakwak for Everyone を2022年に設立して代表理事、2024年に JICA 千葉デスクとして働いている。

## 7. 閉会挨拶 OB 会会長 西村 邦雄氏

OB 会の西村邦雄会長が閉会挨拶をおこない、会は滞りなく終了しました。



閉会挨拶 OB 会会長 西村 邦雄氏